



一泉

発行所 一泉同窓会

〒921-8517 金沢市泉野出町3丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内

TEL (076) 242-0211 FAX (076) 216-5656
E-mail : issen_knz@hotmail.com

2024(令和6)年3月31日 発行 第51号

歴史に思いをはせ、未来に向けた歩みを誓う 130周年記念グローバルシンポジウム

石川県尋常中学校として1893（明治26）年に開校以来、県立第一中学校、県立金沢第一高等学校、県立金沢泉丘高校と名称を変えながら、歴史を重ねてきた「一泉」は、2023（令和5）年、創立130周年を迎え、グローバルシンポジウムや記念式典などが開催され、一泉同窓会会員や生徒、教職員、関係者が節目を祝った。

グローバルシンポジウムは8月25日、金沢歌劇座で行われ、一泉同窓会会員や生徒ら約1500人が出席、卒業生らのパネル討論や講演を通じて多角的な視点を養った。

米ブロードウェイ俳優の由水南さん（泉丘54期）、料理店「日本料理銭屋」主人の高木慎一郎さん（同42期）、実業家の綱川明美さんが登壇した。

高木さんは進路選択にあたり「その分野で強みを持っているか、好きかの二つが大事」と話した。由水さんは、困難に立ち向かう心構えについて「日々できるようになったことを見つける努力をする」と説いた。綱川さんは「否定されても自分は正しいと自信を持つことが大切だ」と述べた。

冒頭、澁谷英利グローバルシンポジウム実行委員会委員長（同36期）があいさつした。

泉丘高で記念式典と講演会 節目を祝う

一泉創立130周年記念式典と記念講演は10月15日、金沢泉丘高校で行われた。記念式典では岡橋勇侍校長（泉丘36期）が式辞を述べ、徳田博石川県副知事（泉丘29期）、中村太郎同窓会会長・一泉創立130周年記念事業実行委員長（泉丘35期）が挨拶した。生徒を代表し、2年生の飯山勇聖君が「さらなる高みを目指し、進取果敢に新しい時代を切り拓いていきたい」と述べた。記念講演では、実業家のハロルド・ジョージ・メイ氏が「新たなリーダーシップの到来」と題して話した。



一泉同窓会基金寄付活動報告

○収支報告

寄付の累計（2023年3月末実績）

金額 4,694,000円（2019年10月より）

件数 89件

（うち、2022年度分は918,000円、39件）

2023年度助成計画	合計額	3,650,000円
グローバル人材育成教育支援		2,450,000円
教育振興（SSH,SGHほか）		300,000円
書籍購入		100,000円
通信制教育振興		100,000円
一泉賞		150,000円
バス購入積立		500,000円
国際交流活動助成		50,000円

○活動実績報告

スーパースーパーグローバルハイスクール（SGH） 米国海外研修 企業や大学で学ぶ

SGコース最大の行事である海外研修は10月1日から7泊8日の日程で行われた。参加した2年生の生徒たちは、ニューヨークのマンハッタン、ニュージャージー州（プリンストン高校、プリンストン大学）、ワシントンDCを訪ね、現地関係者に課題研究を発表し、



ウォール街を視察した後、記念撮影に収まるSGコースの生徒たち

意見交換を行った。

プリンストン大学では、学生の案内で学内を巡り、プリンストン高校では現地の高校生とともに物理やラテン語、歴史の授業などを受けた。世界銀行や国連日本政府代表部を訪ね、職員からさまざまな話を聞き、有意義な研修を終えた。

米国で自然界の仕組み、デザイン思考に触れる SSH海外研修

文部科学省が指定するスーパーサイエンスハイスクール（SSH）認定校である泉丘高校理数科の米国海外研修は10月1日から7泊8日の日程で行われた。

生徒たちは、サンフランシスコを訪ね、スタディーセンターで「バイオミミクリー（生物模倣）」をテーマに英語で意見を交換した。サンフランシスコと東京に拠点を置くデザイン会社「btrax」を訪問し、デザイン思考やイメージマップなどが実際に企業活動に利用されていることを学んだ。

名門スタンフォード大学では、学生が案内するキャンパスツアーに参加し、充実した米国での学びの時間を過ごした。



スタンフォード大学を訪ねたSSHコースの生徒たち



あらき歯科医院

荒木 篤志（泉丘38期）

〒920-0226 石川県金沢市栗崎町3丁目3-1
TEL076-237-7955

みどりが丘動物病院

山岸 弘和（泉丘38期）

〒921-8112 金沢市長坂3-9-1
TEL076-280-6366

土地家屋調査士

神佐共同事務所

代表 神佐 淳（泉丘38期）

〒921-8034 金沢市泉野町4-11-19
TEL076-280-2912

一 泉 賞

原崎さん、増田さんに栄冠 令和5年度 一泉賞

令和5年度の「一泉賞」は原崎咲来さん（3年）と増田和夏子さん（同）が受賞した。

原崎さんは、第41回読書体験記コンクール（主催 公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会、後援 文部科学省・全国都道府県教育長協議会・全国高等学校長協会・集英社）において、全国449校、85,538編の応募の中から、中央入賞8作の中に入る栄誉に輝き、一ツ橋文芸教育振興会賞（全国4～8位）に選ばれた。

増田さんは、放送部に所属、3年生で個人として全

国大会の決勝に進出した。令和5年度第70回全国高校放送コンテスト朗読部門では決勝に進出（出場者5056名中の上位10名）する活躍を見せた。



原崎咲来さん



増田和夏子さん

O B 会 だ よ り

桜 美 会

一泉創立130周年記念美術展 過去最多の5,734人が鑑賞

毎年恒例の「一泉桜美会美術展」が今年は「一泉創立130周年記念美術展」に協賛する形で8月22日から27日の間、金沢21世紀美術館市民ギャラリーで行われた。会員や卒業生、在校生の作品が展示され、多くの来場者でにぎわった。

展示会には、職員5人、会員および一般の卒業生105人、在校生42人から計231点の作品が寄せられた。来場者は計5,734人に上り、昨年の一泉桜美会美術展の総来場者数1,350人を上回り、過去最多となった。

一泉桜美会代表幹事の林昭悦（泉丘17期）さんは、「今年は155サイズに近い大作が10数点と多く、金塗り百人一首カルタなどジャンルが多様性に富んでいる。県外からの出品が以前より増えている」と話した。

出品作品は、これまでと同様に「書」、「絵画（油絵

・水彩画・アクリル画・水墨画・ちぎり絵）、「版画」、「写真」、「陶芸」、「木工」、「彫刻」、「工芸」に加えて、「彫金」、「金工」、「ステンドグラス」、「木目込み人形」、「ジオラマ」、「刺繍画」、「切り絵」など多岐にわたる作品が並べられ、大盛況となった。

会場入口には、2023年2月に100歳で永眠された一泉桜美会名誉会員の氷田清風先生の遺作が掲示され、来場者は先生の足跡をしのんだ。

（泉丘18期 藤島寛仁、一泉桜美会事務局）



医療法人社団和宏会
敬 愛 病 院

理事長 院長 土用下 和之（泉丘38期）

〒920-0931 金沢市兼六元町14-21
TEL076-222-1301

浅井小児科医院

浅井 暁（泉丘38期）

〒921-8815 野々市市本町5-2-18
TEL076-248-3311



戸上工業株式会社

代表取締役 戸上 浩一（泉丘38期）

〒920-0334 金沢市桂町イ36-3
TEL076-268-1167 FAX 076-268-1182

12人の先輩が職業を紹介

「社会人と語る会」を開催

令和5年度の「社会人と語る会」は11月3日、泉丘高校で開かれ、幅広い分野で活躍する卒業生12人が母校の教壇に立ち、2年生に自身の仕事内容や経験などを語った。

「語る会」は生徒が、さまざまな職業を理解し、自らのキャリア形成のヒントを得る機会として開催された。

講師を務めたのは国家公務員、弁護士、医師をはじめ、企業や団体で活躍しているビジネスマンら卒業生。それぞれが幅広い分野でリーダーや各組織の中枢を担っている。

先輩からそれぞれ活動内容や苦労、喜びなど生の声を聴いた後、仕事をテーマに“正解のない問い”を投げかけられた生徒たちは意見を出し合って職業について理解を深めた。

講師を務めたのは次の皆さん。

◇国家公務員（経済産業省、内閣府出向、経済財政担当大臣秘書官）小柳聡志（泉丘52期）

◇国立研究法人研究者（国立研究開発



小柳聡志さん



羽場宏光さん



小谷篤さん



永井三岐子さん



牧野敏幸さん



越仲広樹さん

法人理化学研究所 仁科加速器科学研究センター）羽場宏光（同42期）

◇弁護士・海事補佐人（一橋綜合法律事務所）小谷篤（同44期）

◇海外企業・JICA等勤務（一般財団法人ほくりくみらい基金理事長、アステナホールディングス社外取締役）永井三岐子（同39期）

◇公認会計士（あずさ監査法人＝KPMG ジャパン）牧野敏幸（同47期）

◇一般企業（NTTデータ）越仲広樹（同46期）

◇スタートアップ企業経営者（ワンキャリア執行役員CTO）田中晋太郎（同61期）

◇医師（金沢医科大学脳神経外科学教授）林康彦（同36期）

◇医療関係（住友化学生物環境科学研究所）脇屋敷（河合）里美（同38期）

◇建築家・企業経営（建築家／SPEAC代表取締役）吉里裕也（同43期）

◇電気・電子系メーカー（住友電気工業）上野昌紀（同38期）

◇コンピュータコンサルタント（Slalom,Inc.）木村順子（同38期）



田中晋太郎さん



林康彦さん



脇屋敷河合里美さん



吉里裕也さん



上野昌紀さん



木村順子さん



安井電気工事(株)

代表取締役社長 安井 健一（泉丘38期）

〒924-0815 白山市三浦町491
TEL076-275-3204 FAX076-275-3911
E-mail : yasui-dk@asagaotv.ne.jp

DENTAL CLINIC
ぎゃくし歯科医院
院長
齋 師 信 洋
(泉丘38期)

〒921-8824 石川郡野々市町新庄6丁目14街区8番地
TEL(076)294-8841 FAX(076)294-8840

(医) 宏治会 ののいち産婦人科クリニック

理事長 炭谷 宏志（泉丘38期）

〒921-8815 野々市市本町2-18-22
TEL076-248-5315 FAX076-248-8779

同窓会だより

懐かしい友との再会に笑顔800人が集い総会・懇親会

一泉同窓会の創立130周年記念・令和5年度総会・懇親会は10月15日夜、金沢市のホテル日航金沢で開かれた。今年度幹事期の泉丘40期が掲げたテーマは「よみがえれ一泉魂 つなごう未来への絆」。

800人を超える同窓生が参加し、創立130周年の節目を祝った。新型コロナウイルス感染症の5類移行後初の開催もあり、旧友との懐かしい再会を喜ぶ同窓生の姿が場内のあちこちで見られた。

総会では、創立130周年記念事業や同窓会活動について、諸野普一泉同窓会事務局長（泉丘22期）がグローバル人材教育支援のための基金募金をはじめとする創立130周年記念事業や同窓会活動の説明を行い、母校のさらなる発展を祈った。

懇親会では、石川テレビアナウンサーの稲垣真一さん（泉丘45期）が司会を務め、賑やかな酒宴となった。最後に応援歌ならびに校歌斉唱のあと、林隆信副会長（同22期）の3本締めでの発声で閉会した。



第64回関東一泉同窓会総会・懇親会

第64回関東一泉同窓会の総会・懇親会は11月18日、東京都新宿区のハイアットリージェンシー東京で開催され、334名の同窓生が集った。

開始時間を昼間に設定することで、懇親の時間を拡大、年1回の再会は盛り上がりを見せた。本部同窓会からは中村太郎会長（泉丘35期）、至極明子副会長（同34期）ら3名と岡橋勇侍校長（同36期）らが出席した。総会では、北川秀二関東一泉同窓会会長（同30期）があいさつし、岡橋校長から現役生の活躍ぶりが紹介された。

関東一泉同窓会元副会長・山岸章さん（泉丘17期）

の乾杯に始まり、小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクトに関わる橘省吾さん（同43期）はじめ、各界で活躍する同窓生にのトークイベントや歓談で親睦を深めた。校歌斉唱は、プロの音楽家である細川文さん（同43期）と大蔵克紀さん（同43期）の生演奏により盛り上がった。



YANAGI

有限会社 柳 鉄 工 所

代表取締役 柳 邦一（泉丘38期）

〒920-2126 白山市鶴来新町ソ43
TEL076-272-0052 FAX076-272-0952



MARKTEC

代表取締役社長 西本 圭吾（泉丘38期）

E-mail: nishimoto@marktec.co.jp

非破壊検査・マーケティングの総合メーカー

マークテック 株式会社

〒143-0015
東京都大田区大森西
4-17-35

TEL03-3762-4451

FAX03-3764-4337

https://www.marktec.co.jp/

WINDEC

株式会社 機械センター

https://www.windec.co.jp/ https://www.high-technome.co.jp/

TR High-Tech Rise

Nippon Computer System

株式会社 ニコス

https://nics-eng.co.jp/



泉丘38期生一同

令和6年能登半島地震で被災された皆様に、日常の生活が一日も早く戻ることをお祈りいたします

白山一泉同窓会総会・懇親会

白山一泉同窓会の令和5年度総会・懇親会は11月18日、白山市のグランドホテル白山で開かれ、57人が母校を懐かしみ親交を楽しんだ。

来賓として田村敏和白山市長が参加、5月にユネスコ世界ジオパークに認定された「白山手取川ジオパーク」について、モロッコのマラケシュで開催された第10回世界ジオパーク大会での認定証交付式の様子も交えて講演した。

総会では、青木桂生氏（泉丘13期）が会長を退任、新会長に長基健司氏（同26期）が選ばれた。



富山一泉同窓会

富山一泉同窓会の第3回総会・懇親会は11月11日、富山市の高志会館で開催され、40名が交流を深めた。

堀祐一会長（泉丘23期）が「一泉の絆を深めていただきたい」とあいさつ、来賓の中村太郎一泉同窓会長が130周年記念事業への協力に感謝を述べた。横谷正樹幹事（同40期）が司会を担当した。懇親会は今村理佐幹事（同32期）の乾杯で始まり、最年長の荒川知加子氏（同7期）と最若手の川畑拓人氏（同70期）のスピーチの後、全員で校歌を斉唱、岡本仁顧問（同17期）の万歳三唱で閉会となった。

新役員は次の皆さん。会長堀祐一（再）、副会長谷

内正立（同23期、再）、監事：加藤高明（同29期、再）、今村栄夫（同37期、新）



第40回関西一泉同窓会総会・懇親会

関西一泉同窓会の総会・懇親会は7月8日、大阪市のスーパードライ梅田で開かれ、約70人が懇親を深めた。

新型コロナウイルス感染症の影響で開催は4年ぶりとなった。参加者は母校の思い出話で盛り上がった。副会長に新たに選任された若松正志氏（泉丘34期）が開会のあいさつを行い、中村嘉克氏（同35期）・中村明彦氏（同37期）が司会を務めた。一泉同窓会の中村太郎会長（同35期）・諸野普事務局長（同22期）、金沢泉丘高校の岡橋勇侍校長（同36期）が来賓として参加した。2次会は松尾ゆきえ氏（泉丘通信12期）のラウンジ珠洲で行われた。



金沢滞在を、真の金沢体験へ。

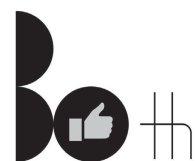
ANA
CROWNE PLAZA®
AN IHG HOTEL
KANAZAWA

ANAクラウンプラザホテル金沢
〒920-8518 石川県金沢市昭和町 16-3



feel so good!
ここちよい 時をおくる。

Hotel Nikko Kanazawa 30th



〒920-0853 石川県金沢市本町2-15-1(JR金沢駅兼六園口前)
TEL. 076-234-1111(代) www.hnkanazawa.jp

一泉創立130周年記念に一泉行列のジオラマを制作

寄稿 山本武生(78) 泉丘16期 (バレ部、美術部、応援団所属)

応援団に所属していた私は、一泉創立70周年を迎えた時、『花の16期生』と言われ、野球部、相撲部、各クラブ優秀な成績を上げた時代でした。卒業後、一泉同窓会の幹事期の時、10月15日の物故者慰霊祭に参加した事で、厳霜碑の意味（日露戦争で倒れた33名を祭る碑）を理解した次第です。後に一泉行列に参加させて頂き、校舎の移転記念事業の単に行進と理解をしておりましたが、昨年の一泉行列に参加した折、同窓会機関紙『一泉』の記事を、8期生の福田太睦先輩より送って頂きました。

それには、当時の吉野勝太郎先生（一中22期卒）のアルバムが吉野先生のお孫さんから同窓会の方に寄付された貴重なアルバムでした。なんと厳霜碑と台石、初代冨田、3代久田校長銅像を大八車で、一中45回生をはじめとする生徒が軍服姿にて、完成間近の新校舎へと、ぬかるんだ地黄煎の道を校舎に向かって、力強く必死に大八車の綱を曳き込む一枚の写真が目に入りました。感動！感動！この一枚の写真が一泉行列の由来に当たると、脳裏に焼き付きました！

私は泉丘高校卒業生として如何に歴史を探究していなかったかと反省し、卒業から60年を経た今、この一泉行列の由来を、同窓生はもちろん現役生徒、学校関係者に広く認識していただきたいとの思いで、130周年を記念して、今の時代では考えられない一中健児の校舎移転の様子を表現する決意を致しました！

この大移動の様を表現すれば良いのかと、ネットや県・市立図書館に通い昭和12年当時の地図を求め、当時の建築物の姿を過去と現在の違いなど探り、長い道のりの様子を鳥瞰図に描き、一部旧校舎と新校舎の拡大を図り表現しました。これだけでは、先輩方の表現にインパクトがないと感じ、さらにジオラマ制作に取り組みました。試行錯誤の上、針金で骨格を整え、紙粘土で土台を作り着色、背景の桜並木、学校関係者等配置しました。

完成すると、これ又一中の校舎はどのような校舎になっていたのか？校門の写真と平面配置図しか、文献

には載っていないので、アルバムの写真、校舎の外壁の下見板の高さを基に、建物の図面を立ち上げ、ジオラマ製作に取り掛かり完成、同窓会事務局長諸野様と連絡を取り合い、愚策ではありますが、後輩に一泉行列の由来を記す意味合いで4月13日移転事業を行った日に、学校の学生ホールに寄付させて頂きました。おかげさまで岡橋学校長はじめ多数の学校関係者や報道各社、同級生からねぎらいの声を頂戴いたしました。

その後、一泉創立130周年記念美術展に展示、広く多くの方に見て頂き、さらにこの世紀の大移動の偉業に参加された大先輩、新澤義男さん（一中45期、102歳）に面会することができて、大変光栄に感じております。この制作を通じ、後輩の諸君が、一泉行列の由来を認識して、母校の歴史を受け継いでもらいたく感じております。今年の8月30日後に製作した一泉行列の被り物で炎天下の中行進いたしました！



山本武生さん

先人の 偉業讃へし 桜かな 武生
厳霜碑 運搬の翁 出会う夏 武生



旧制金沢一中（現在の泉丘高）の現校地への移転の様子を再現したジオラマ。制作は妻秋子がアシスタントを務めました。

同窓会幹事代行承ります。

TEL 0120-953-070

受付時間 月～金 9:30～12:00 / 13:00～17:00

同窓会のトータルプロデュース企業

株式会社 サラト



株式会社 橋本確文堂

取締役会長 橋本勝郎
(泉丘12期)

金沢本社 〒921-8025 石川県金沢市増泉4-10-10
TEL: (076)242-6121 FAX: (076)243-7945
東京支店 〒102-0081 東京都千代田区四番町1-8
四番町セントラルシティハウス7階
TEL: (03)6700-8899 FAX: (03)4361-9260

www.mba.co.jp

一泉文庫管理表

2023年度寄贈分

寄贈・購入日	寄贈・購入別	書名	著者	購入・寄贈者
2023/5/12	寄贈	台湾の大地を拓いた人たち	緒方英樹	福田太睦（泉丘8期）
2023/5/12	寄贈	大地を拓く	緒方英樹	福田太睦（泉丘8期）
2023/6/1	寄贈	岩と脳みそ	真鍋 宏（泉丘31期）	同左
2023/6/12	寄贈	徳沢愛子金沢方言詩集Ⅱ（咲うていくまいか）	徳沢愛子（泉丘9期）	同左
2023/6/12	寄贈	徳沢愛子金沢方言詩集Ⅲ（ごんだ餅の人々）	徳沢愛子（泉丘9期）	同左
2023/8/28	寄贈	知られざる北陸路	高岡（今川）千栄子（通信18期）	釜谷鉄山（通信9期）
2023/10/16	寄贈	秀さんへ。息子・松井秀喜への178通の手紙	松井昌雄（通信10期）	同左
2023/10/18	寄贈	今日から始めるSHOW UP	由水 南（泉丘54期）	同左
2023/11/21	寄贈	基礎教育 分析化学	河嶋拓治（泉丘6期）（共著）	同左
2023/11/21	寄贈	バイオセンサー	河嶋拓治（泉丘6期）（共著）	同左
2023/11/21	寄贈	基礎からの分析化学	河嶋拓治（泉丘6期）（共著）	同左
2023/12/1	寄贈	専業主婦の人間力	金子（山浦）厚子（泉丘34期）	同左
2024/1/5	寄贈	時の睡蓮を摘みに（*）	林由貴（泉丘58期）	諸野普（泉丘22期）

（*）第13回（2023年度） アガサ・クリスティー賞 大賞受賞作 著者ペンネーム 葉山博子

東大に21人、京大に15人合格
（令和6年度入試 前期日程結果）

東大、京大など国公立大学の令和6年度入試前期合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大21（現役9）人、京大15（同6）人が合格した。東大現役合格者が20人を超えたのは昨年度にひきつづき2年連続で、通算で4度目である。

その他の難関国立大の前期までの結果は、阪大32（現役18）人、名大16（同10）人、東北大9（同6）人、九大1（同0）人、北大6（同3）人、一橋大1（同1）人、東工大1（同1）人、神戸大21（同19）人であった。

なお、地元の金大には66（現役56）人、うち医学類には14（同9）人が合格した。国公立大学医学部医学科全体の合格者は25（同15）人であり、このうち神戸大に1（同1）人が合格した。

一中魂を思い、市内を練り歩く
一泉行列に150人が参加

令和5年度「一泉行列」は8月30日に行われ、生徒や教職員、同窓生ら約150人が創立130周年の節目の年に歴史へ思いをはせながら金沢市内を行進した。

かつての旧一中跡地にある金沢歌劇座前を出発する約5キロのコースで行われ、参加者は制服や部活動のユニホームなど思い思いの格好に身を包み、吹奏楽部の演奏に合わせ、



香林坊や片町などを通り、校舎までを歩いた。一泉行列は泉丘高の前身、旧制金沢一中の精神を継承しようと約30年間続い

ている。金沢歌劇座前での出発式では岡橋勇侍校長があいさつし、一泉同窓会の中村太郎会長が激励した。

編集後記

2024年1月1日16時10分に発生した能登半島地震により、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災されました方々に心からお見舞いを申し上げます。多くの被災者が今も避難生活を送っている状況であり、一刻も早く元の生活に戻れますよう祈っております。また復旧復興に向けた取り組みに汗する多くの同窓生に拝謝申し上げます。

同窓会員の皆さまの力の結集により、昨年は一泉創立130周年記念事業が盛大に執り行われました。数々の事業を通じて、歴史に思いをはせ、後世に伝統を受け継ぐことができたのではないのでしょうか。次の10年、20年の母校の新たな発展と次代を担う後輩の活躍を祈念したいと思います。（加）

「一泉」編集室

小林弘子（同12期） 藤原 励（同23期）
加茂谷慎治（同34期） 東野理実子（同36期）
題字・普神貴行（一中56期・泉丘2期）